

【正解又は解答例】

令和8年度 愛媛大学大学院農学研究科入学者選抜学力検査

(食料生産学専攻 食料生産経営学コース)

専門科目	地域資源管理
------	--------

第 1 頁 (2 頁の内)

問 1 .

担い手への農地集積を推進する意義については、遊休農地発生防止の観点、および農業経営効率化の観点に基づいた説明が必要である。担い手への農地集積を制約している要因については、一般に①農地の受け手が不足していること、②農地集積に伴い圃場が分散すること、③農地情報が不足していること、④農地に対する資産保有意識が強いこと、⑤転用期待が強いことがあげられるが、これら以外についても、論理的妥当性があれば正解とする。

【正解又は解答例】

令和8年度 愛媛大学大学院農学研究科入学者選抜学力検査

(食料生産学専攻 食料生産経営学コース)

専門科目	地域資源管理
------	--------

第 2 頁 (2 頁の内)

問 2.

農地の有する多面的機能の具体例としては①洪水防止機能、②水源涵養機能、③土砂災害防止機能、④土壌浸食防止機能、⑤景観保全機能、⑥生態系保全機能、⑦気候緩和機能、⑧保健休養・安らぎ機能があげられるが、これら以外についても、農地に由来する機能であり、外部性を持ったものであれば正解とする。貨幣評価の方法については①代替法、②トラベルコスト法、③ヘドニック法、④仮想市場法 (CVM)、⑤コンジョイント分析の中から選択されていれば正解とする。